

# 開催御礼新聞

学力保証緊急公開勉強会 I N 北海道 千歳会場

## 全国学力・学習状況調査の結果から北海道の教育を見直す！

【全ての子に「学力」を保証する教育を実現するための第一歩！】

**ご参加いただいた皆様**

**ありがとうございます**

後援：北海道教育委員会  
千歳市教育委員会  
苫小牧市教育委員会  
恵庭市教育委員会  
読売新聞北海道支社

**約60名が参加**



調査開始から六年間、北海道の結果は下位を低迷してしまっています。北海道教育委員会は八月二十七日に発表したコメントにある通り、本来、生まれ育ったところにより、学力に大きな差があってもならず、すべての子どもたちに「社会で自立するために最低限必要な学力」を保証しなければなりません。全ての子に「学力」を保証する教育を実現するための公開勉強会を、全道三会場で開催することになりました。その第一回は十一月十日（日）に千歳アルカディアプラザで開催されました。当日は、道内の教員、議員、道民の方が7名参加し、北海道の学力保証について考えました。

## 北海道の現状がここにある

過去6年間の北海道全国順位

	小学校				中学校			
	国語		算数		国語		算数	
	A	B	A	B	A	B	A	B
2013年	40	45	43	47	37	37	35	42
2012年	46	40	46	45	38	30	35	42
2010年	46	47	46	46	36	43	38	40
2009年	46	47	47	45	39	43	40	41
2008年	46	46	46	46	42	43	44	43
2007年	45	44	46	46	42	39	44	44

※2011は、東日本大震災の影響で集計なし

## 全国学力・学習状況調査とは

■全国学力・学習状況調査とは、2007年より日本全国の小学6年生・中学3年生全員を対象として行われるテストのことです。

■テストは、算数・数学と国語と理科(2012年から)の3科目で、それぞれ知識力を問う問題(A)と知識活用力を問う問題(B)の2種類に分かれています。

■学力を問う問題だけでなく、児童・生徒の学習・生活環境のアンケート調査も行っています。

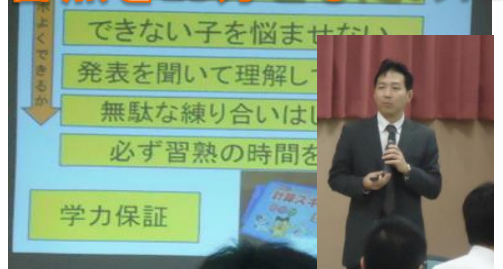
## 算数教科書の構造



千歳市立旭ヶ丘小学校教諭は、学力保証を実現するための学校づくりについて語っていました。千歳の勉強会では、「教師が教科書を読解する」、「教科書の構造の意味」の重要性を現場で実際に使用されている教科書をもとに語りました。「算数の教科書は、細かいところまで考え抜かれて設計、製作されている。その構造を見抜き、授業で活用することが学力保証につながる。」というお話に参加者は、真剣な表情で聞いていました。

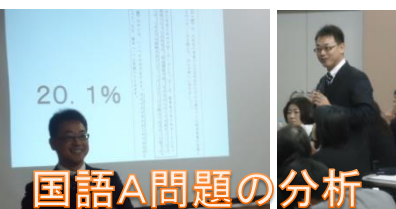
## 教科書の構造を見抜き、活用する

## 習熟を15分とるために



秋田県は、どのような教育をしているのでしょうか。今回の勉強会では秋田県大館市立扇田小の間嶋祐樹教諭(TOSS秋田代表)に、秋田の教育について語っていただきました。「秋田県は算数の教科書を使って授業している。秋田県は算数の教科書の問題を全て解かせる教師が約62%。八割以上の問題を解かせる教師が36%。15分間の習熟時間をとるために、それまでの30分をいかにテンポよくすすめるか」などのお話が次々と飛び出し、参加者はメモする手が止まりませんでした。

秋田県はなぜ学力が高いのか？  
TOSS秋田代表が語る！  
秋田県の教育情報  
学力調査 全国一位



TOSS北海道の家庭学習ガイドを提案しました。  
学習習慣の定着  
北海道の学力調査結果の分析報告も行われました

模擬授業で提案する  
授業改善(国語)  
TOSSが提案する  
学校づくりで学力保証  
学力を  
保証する



校内で統一  
今年、視察研修で秋田県へ行ったTOSS教師、高橋賢治教諭が、実際に見た秋田県の教育を報告しました。北海道と秋田県の現場を比較しながら、今後の北海道の目指すべき教育を語りました。秋田の小学校では校内で指導法や指導内容、学習規律を校内で統一している現場の様子が報告されました。対して北海道は、教師一人一人の自主性に任されているため、校内で統一されていないことを指摘されました。秋田の取り組みに参加者は耳を傾けました。

秋田の「当たり前」と北海道の「当たり前」  
秋田県視察報告



第2回 釧路会場のご案内  
主催：TOSS北海道 共催：釧路の教育を考える会  
テーマ 学力と体力の向上！北海道の二大テーマに挑む！  
12月14日(土)釧路市民交流センターわっと 13:00~17:00  
「子どもの生活リズム」算数・社会科授業の課題」「宿題の工夫」  
第3回は札幌市で開催します！平成26年2月1日(土)



# 秋田発

# これが「秋田の当たり前」

秋田県・大館市立  
扇田小学校教諭  
間嶋 祐樹 氏

# 学力保証4つのポイント

「第1回学力保証緊急公開勉強会」のポイントをお伝えしていきます。「秋田が高く北海道が低い理由が明確になりました」という感想を数多くいただきました。そのポイントは4つありました。学力保証4つのポイントとして、整理しました。



間嶋氏の講演スライド  
「無駄な練習はいはしない」

**ポイント① 教師が真面目・素直**

県教委の方針を学校全体で共通理解して取り組む傾向がある。学校の組織の一員として学力を高めるため、校内で統一した取り組みがされている。

**ポイント② 授業で教科書を使う**

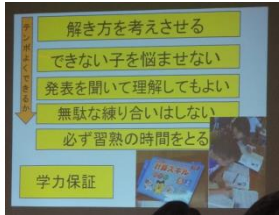
算数の授業で教科書の問題8割以上を解かせる教師は90%以上いる。授業の最後15分間で「習熟」を行っている。その15分を確保するため、いかにそれまでの30分をテンポよく進めるかが重要。

**ポイント③ B問題対応の充実**

県独自の学力調査や5年生対象のB問題対応学習会の受講などB問題対策が充実している。間嶋氏の勤務校で行われている放課後パワーアップ学習会は10回開催されている。

**ポイント④ 日本海側の家庭教育のよさ**

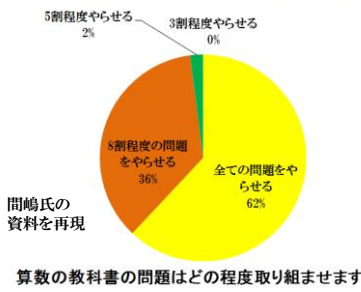
日本海側は離婚率が低い。「小学6年生携帯所有率」は日本海側の県が軒並み低い数字。「小中学生朝食摂取率」は日本海側が高い。



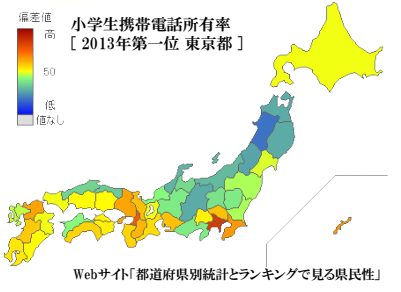
間嶋氏の講演スライド  
秋田県教師の姿が語られた

まじめな教師、素直な子どもが多い。

算数で教科書を使って問題を解く。漢字を授業中に扱う。家庭学習に地道に取り組ませる。B問題対応をしっかり行う。



「だからその前の30分間勝負なんです。のんびり待っていたり、遠回りをしている時間などありません。考えたり、活動させたり、話し合わせたりなどもしますが最後の15分間を確保するためにテンポよく進めています」(間嶋氏)



道総合 34

## 秋田との授業の違い報告

学力テスト上位教員ら勉強会

「学力保証緊急公開勉強会」I-N北海道へTOSS S北海道主催、読売新聞北海道支社など後援が10日、千歳市内で開かれ、道内の教員らが全国学力・学習状況調査(全国学力テスト)で上位の秋田県と、下位が続く本道の授業の違いについて理解を深めた。

この日、参加したのは道内の小、中学校の教員約50人。道内の学力低下の背景について①算数などの授業で教科書を使わず自作プリントを多用したり、漢字を授業で教えず宿題としている(運動会などの学校行事)

その後、秋田県大館市立扇田小の間嶋祐樹教諭が

## 北海道の危機的実態

なぜ北海道は全国学力テストで下位が続いているのか？学校現場において、学力低下の背景にはどんなことがあるのか？このことを明らかにしていくために、TOSS北海道では、道内の教師から回答を集めました。その結果は勉強会の中で報告しました。その一部をご紹介します。

質問 「あなたの学校で行われている、学力低下につながると思われる授業についてお答えください。」

この質問に対して、以下のような回答が寄せられました。

- ①漢字を授業で教えず、宿題にしている。
- ②授業の中で音読をせず、宿題にしている。
- ③教科書の問題が授業で扱われず、宿題になることが多々ある。
- ④授業で教科書を使わず、自作プリントを多用する。
- ⑤算数の授業で、1時間に1問しか扱わず、授業の中で練習問題をほとんど行っていない。
- ⑥ノートに書かせず、ワークシートばかり使っている。

TOSS北海道作成『学校現場における学力低下の背景』より

読売新聞 全道版  
平成25年  
11月12日(火)

「秋田県の実態をきくことができ、大変勉強になりました。まだ頭の中がいっぱいで、うまく言えませんが、自分の学校で実践できそうなことがたくさんありました！この勉強会、すごいですよー！」

「北海道と秋田の学力差はどこから生まれているのかを知りたくて参加しました。秋田では当たり前のことを当たり前に行われていることが具体的に知ることができました。たくさんポイント、ヒントをいただきました。できることから実践していきたいと思えました。」

「どの講座もまとまっていて、分かり易く、聞き易く、勉強になりました。秋田と北海道の違いがよく分かりました。元気をもらいました。ありがたうございました。QAも良かったです。素直な先生方がほしいです。」

「学力の高い秋田県との違いが明確になったのでよかったです。授業でできることがいくつもあることが分かったので、取り入れられるように心がけていきます。」

「学校で何をしなければいけないかというのがよく分かりました。できるかはわからないけど、研修部としてできることはしていきたいなと思いました。」

## 千歳会場に参加された方のご感想

いただいたご感想の一部を紹介させていただきます。

「秋田と北海道の違いが明確になり、興味深かったです。家庭や地域の抱える課題が大きいのは事実ですが、それだけではなく、現場に問題があるということをもっと認識しなければならぬと思います。」

「間嶋先生のお話、北海道の一教師として北海道の弱点が明確にわかりました。当たり前のことができていない北海道の現実を深刻に受け止め、勤務校全体をまきこんだ取り組みを地道にやっていたいです。ぜひまた間嶋先生の講座を受けたいです。」

「秋田県の実態をきくことができ、大変勉強になりました。まだ頭の中がいっぱいで、うまく言えませんが、自分の学校で実践できそうなことがたくさんありました！この勉強会、すごいですよー！」

「北海道と秋田の学力差はどこから生まれているのかを知りたくて参加しました。秋田では当たり前のことを当たり前に行われていることが具体的に知ることができました。たくさんポイント、ヒントをいただきました。できることから実践していきたいと思えました。」

「どの講座もまとまっていて、分かり易く、聞き易く、勉強になりました。秋田と北海道の違いがよく分かりました。元気をもらいました。ありがたうございました。QAも良かったです。素直な先生方がほしいです。」

「学力の高い秋田県との違いが明確になったのでよかったです。授業でできることがいくつもあることが分かったので、取り入れられるように心がけていきます。」

「学校で何をしなければいけないかというのがよく分かりました。できるかはわからないけど、研修部としてできることはしていきたいなと思いました。」

**応援メッセージをいただきました**

千歳会場にご参加いただいた、北海道議会議員 藤沢すみお様より、ご感想とメッセージをいただきました。

初めて研修会に参加させていただきました。参加の皆様真剣さ、そして北海道の教育を、学力を何とかしようという思いがピンバシと伝わってきました。また、秋田県との比較から「教科書やノートを使う」という、あたり前のことができていないことなど、専門家から見た現場改善の具体例など、私が議会で提言や議論することでも重要な情報が満載でした。参加の機会を与えていただき感謝しています。そして、TOSSの皆様にご心から敬意を表します。ありがとうございました。

北海道議会議員 藤沢すみお